

[横浜市磯子区民文化センター杉田劇場]
令和3年度 自主事業報告

1 施設の概要

施設名	横浜市磯子区民文化センター
所在地	横浜市磯子区杉田一丁目1番1号
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上30階建ての、南棟1階および4階から7階部分の一部を専有（区分所有）
敷地・延床面積	延床面積 2,999.72 m ²
開館日	平成17年2月5日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体
代表団体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

3 基本的な方針

【総合的な方針】

これまで築いてきた区民との関係性、ネットワークを活かし、文化の力で地域の活力を向上させ「笑顔あふれるまち・いそご」実現に貢献する

【第4期指定管理期間中の取組】

多様な区民の社会参画の機会創出
文化的コモンズ形成

【令和3年度の業務の方針及び達成目標】

◇業務の方針：新型コロナウイルス感染症の拡大の防止等、社会情勢や様々な状況の変動に柔軟に対応しながら、地域の文化的な活動の拠点として、新たな形のネットワークの構築と参加機会の提供を行っていきます。

・社会的包摂の視点を踏まえ、幅広い方々が音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供する

◇達成目標：「杉劇いっしょに歌おうプロジェクト」「杉劇ニコニコ見本市」を開催する

・多層的なコミュニティを文化の力でつなぎ、地域の絆をより強固なものにする

◇達成目標：「杉劇リコーダーズ」「杉劇☆歌劇団」「地元発掘映像交流プロジェクト（新規）」の活動を通じて、地域のコミュニティの間のつながりを強化する

- ・地域の様々な施設・団体・資源（教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつける

◇達成目標：「杉劇夏まつり」、「ひばりまつり（「杉劇ひばりの日 2021」として開催）」などの企画を、「新しい生活様式」に則した形の参加型企画として開催する。

4 令和3年度事業報告

【全体振り返り】

第4期の指定管理2年目となる令和3年度は、前年度から続くコロナ禍を踏まえた事業計画を作成していましたが、想定していたよりも影響からの回復が遅く、引き続き、長期的な事業展開が難しい状況となりました。横浜市の「ガイドライン」に沿った利用制限や施設の開館時間の短縮が秋口まで続きました。この前年から続いた状況が、施設利用についても、公演鑑賞・参加等のモチベーションにおいても、大幅な縮小につながっており、その傾向は制限が多少緩和された秋以降も回復しないままとなっています。

事業においては、年度前半は規模の制限と感染対策の徹底のため、中止や延期をとせざるを得ない状況が続きました。その中でも、地域の要望に応える形で「杉劇ひばりの日 2021」や、「夏まつり」の代替である「杉劇こどもウィーク おやこ de 夏あそび」は、感染対策を徹底しながら開催できました。年度後半は、冬前頃に、一旦、コロナ禍の影響が収束傾向にあったため、延期していた「杉劇リコーダーズ」や「杉劇☆歌劇団」も再調整したスケジュールで開始し、各事業も予定通りの準備を進めました。しかし、文化活動への参加・公演への来場の習慣を以前のレベルまで取り戻すことは難しく、加えて、新型コロナウイルス変異株の変異株の再拡大が重なり、年度後半の事業への集客も苦戦が続きました。

貸館利用についても、利用制限・時短営業中に平日のイベント利用や、夜間の練習利用が大幅に減少していた状況が、制限緩和された後も固定化してしまっている状況です。文化活動は、「練習・制作（製作）」から「発表・発信」という流れであり、施設の利用は、そういった活動を繰り返す方たちによって支えられてきました。その基本的な流れが、コロナ禍によって断絶・消滅しかけています。

そんな中で、地域のコミュニティとの連携として開館以来継続している、区内の小中学校との交流・情報交換も、学校側に課せられている音楽授業への制限が施設以上に厳しい部分もあり、「杉劇リコーダーズ」や「杉劇☆歌劇団」への積極的な勧誘も今年度は控えていました。他方で、ここ2年で蓄積してきた感染拡大防止策を踏まえ、学校よりも密にならず安全に活動できる場として、学校活動をサポートするために、施設の空き室場を活用しました。

アフターコロナ、ウィズコロナの状況が、今後も続くことが予想される中、文化施設の2本柱である、自主事業と貸館事業の双方を再構築し、「あらゆる人に開かれ、集まれる場」となるべき区民文化センターが、文化的な魅力と安全を両立させたうえで「どうしたら人を集められるか」と「集まることなく文化に触れる機会」を提供するか、次年度に向けてさらに検討を進める必要性を認識しています。

(1) 事業計画

ア 使命1：磯子区の外国人、障がい者、様々な経済事情にある方、子どもや高齢者、性別にかかわらずなく幅広い属性の方などへ、社会的包摂の視点を踏まえ、音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れるための区民文化形成に貢献する。

◇◇あらゆる人が集い、笑顔があふれる広場をつくります

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 誰もがいっしょに合唱を通じて芸術に取り組む「杉劇いっしょに歌おうプロジェクト」をスタートします。	1 杉劇歌おう！プロジェクト 米良美一講演会「波乱万物語～未来へ向けて」を開催しました。 ■令和4年2月4日開催 来場者120名
2 あらゆる人たちが参加し、楽しめる作品展「杉劇ニコニコ見本市」を、昨年度に引続き開催します（年1回）	2 杉劇にここにこ見本市「生きる 塚田麻美&北見美佳 二人展」を開催しました。 また、関連企画として、杉劇にここにこワークショップアートワークショップ「飛ぼう！未来へ」と、ダンスワークショップ「みんなでおどろう！つながろう！」を開催しました。 ■「生きる 塚田麻美&北見美佳 二人展」 令和4年2月1日～6日開催 来場者309名
3 こどもたちに文化芸術の豊かさや発信する力を体験してもらい、創造する力や考える力を育みます	■アートワークショップ「飛ぼう！未来へ」 令和4年1月29日開催 参加者18名 ■ダンスワークショップ「みんなでおどろう！つながろう！」 令和4年3月13日開催 参加者19名
	3 「杉劇にここにこアート体験塾」を2回、「出前 にここにこアート体験塾」を1回開催しました。 ※令和3年5月31日予定していた「時代劇を学ぼう」は、東京都の緊急事態宣言発令の影響で中止。 ■杉劇にここにこアート体験塾 横浜夢座 朗読音楽劇「真昼の夕焼け」 令和3年7月19日開催 杉田小学校6年生113名

<p>4 地域の誰もが杉田劇場に集い、交流する機会をつくれます</p>	<p>■杉劇にこにこアート体験塾 邦楽を堪能しよう 令和3年12月10日開催 さわの里小学校6年生54名</p> <p>■出前 にこにこアート体験塾 雅楽であそぼう! たのしもう!! in 久良岐能舞台 障がいの有無に関わらず雅楽の楽しさを体験できるワークショップ(会場:久良岐能舞台) 令和3年11月7日開催 参加者10名</p> <p>「横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム」を4校で実施(新型コロナウイルスの影響により1校で実施を取りやめ)</p> <p>■4校 計411名参加</p> <p>①浜小学校 箏の体験・鑑賞 11月24~25日実施(クラス別) 4年生106名</p> <p>②汐見台小学校 箏の体験、鑑賞 12月16~18日実施(クラス別) 6年生130名</p> <p>③洋光台第二小学校 能の体験・鑑賞 12月23日実施 5年生75名(学年合同)</p> <p>④屏風浦小学校 パントマイムの体験 2月4日、17~18日(クラス別) 4年生100人</p> <p>4 文化を通じた地域との交流イベントとして、「杉劇ひばりの日2021」「杉田劇場にこにこ冬まつりライブ2022」を開催しました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「杉田劇場夏まつり」に代えて、人数等を制限した形で「杉劇こどもウィーク おやこ de 夏あそび」を開催しました。</p> <p>■「杉劇ひばりの日2021」 ホールイベント:旧杉田劇場とひばりさん~トーク&ライブ 令和3年6月23日開催 来場者170名</p> <p>ギャラリー展:磯子が生んだ「昭和の歌姫」美空ひばりと旧杉田劇場 令和3年6月23~29日 来場者1,380名</p> <p>■杉劇こどもウィーク おやこ de 夏あそび</p>
-------------------------------------	--

<p>5 幅広い層に幅広いジャンルの文化芸術を身近な劇場で楽しんでもらう工夫をします。</p>	<p>全館イベント 令和3年8月21日開催 来場者526名 ギャラリー展：杉劇ギャラリー 花火大会 令和3年8月18～22日開催 376名来場 公募により集まった「ぬり絵」の総数 984枚</p> <p>■杉田劇場にこにこ冬まつりライブ2022 令和4年2月6日開催 来場者148名</p> <p>5 多様なジャンルのイベントに対するニーズに応えるとともに、障がいの有無に関わらず楽しめ、参加できる企画を多数開催しました。</p> <p>■素敵な出逢いフェスティバル～知的ハンディのある人たちのパフォーマンスアーツ～ 障害のあるパフォーマーたちによる演奏、映像メッセージとダンスを取り入れた演劇の公演 令和3年9月19日開催 来場者155名 ※Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 パートナー事業</p> <p>■アルバ～夜明け～高橋明日香&日渡奈那デュオコンサート リコーダーとギターによる古楽演奏 令和3年10月1日開催 来場者120名</p> <p>■真野響子一人芝居 夏目漱石夢十夜 (ゲスト:リコーダー奏者 吉澤実) 令和3年10月8日開催 来場者124名</p> <p>■高瀬啓伍 Boogie Magic Live～ブギウギピアノで贈るディズニー音楽の世界～(会場:リハーサル室) 横濱ジャズプロムナード・サテライト企画として実施 令和3年10月16日開催 来場者26名</p> <p>■気仙沼音楽復興支援クリスマスジャズライブ2021 Mako's Christmas Jazz Live 横浜JAZZ協会との共同主催で開催する、チャリティーコンサート 令和3年12月12日開催 来場者228名</p>
---	--

■野村道子プロデュース 朗読歌劇「ラ・ボエーム」～愛あるかぎり～

第一線で活躍する声優とオペラ歌手による朗読歌劇の公演

令和4年1月8～10日 来場者 755名

■横浜18区コンサート 辻彩奈（ヴァイオリン）× 神奈川フィルハーモニー管弦楽団メンバー

休館期間中の横浜みなとみらいホールと連携して実施する企画

令和4年1月18日 来場者 167名

■石田泰尚ヴァイオリン・リサイタル2022

人気の高い、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ソロコンサートマスターによるコンサート

令和4年2月26日 来場者 271名

■雅楽×現代 真鍋尚之 笙リサイタル Vol.2

（会場：リハーサル室）

地元在住の笙奏者・真鍋尚之による、公募作品2曲の初演も含む現代曲の公演

令和4年3月5日 来場者 27名

■椿三重奏団 春を夢見しコンサート

技術と音楽性が高く評価される女性ソリストたちによる演奏会

令和4年3月21日 来場者 121名

イ 使命2：芸術文化に関する様々な参加の窓口を用意し、地域住民が潜在的に持つ文化芸術活動の可能性を広げることに貢献する。また、地域で文化活動を主導する人材を増やす。

◇◇すべての区民が文化の担い手一人ひとりが生きる力を育む場になります

<p>【事業計画】</p> <p>1 杉田劇場発、「杉劇リコーダーズ」が地域の課題解決のために活動します</p> <p>2 地域発、演奏団体・劇団が杉田劇場で本格的な舞台づくり、舞台公演をともに創ります</p> <p>3 地元の歴史や文化に愛着を感じる区民を増やし、地域文化の担い手を育成します。</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 新型コロナの感染拡大状況を勘案し、例年よりも期間ずらして「杉劇リコーダーズ」のワークショップを開催し、2年ぶりとなる有観客での定期演奏会と、館外での演奏活動を実施しました。</p> <p>また、横浜みなとみらいホールの「横浜WEBステージ」映像収録に協力し、演奏を動画配信しました。</p> <p>■「杉劇リコーダーズ」ワークショップ 令和3年11月13日～令和4年3月18日 参加者37名</p> <p>■館外演奏活動：令和4年磯子消防署出初式 令和4年1月8日 会場：磯子公会堂</p> <p>■杉劇リコーダーズ 第11回定期演奏会 めぐるよめぐる 赤いやねの夢 令和4年3月19日 来場者105名</p> <p>2 杉田劇場で生まれた「劇団横綱チュチュ」の活動について、会場提供や広報活動など、公演開催に向けたサポートしました。</p> <p>なお、「劇団糸」については、新型コロナの感染拡大状況を勘案し公演開催を取りやめました。</p> <p>■劇団横綱チュチュ 第18回本公演 令和3年11月5～6日(3回公演) 来場者550名</p> <p>3 「いそご文化資源発掘隊」を3回、「こども文化資源発掘隊」を1回開催しました。</p> <p>また、「杉劇☆歌劇団」のワークショップを開催し、本公演を「杉田劇場にこにこ冬まつりライブ2022」の第2部として、障がいのあるこどもたちの舞台活動に取り組むNPO法人ドリームエナジープロジェクトのメンバ</p>
---	---

<p>4 様々なバックボーンのインターン・職業体験の受け入れ</p>	<p>一を迎えて開催しました。</p> <p>■第 51 回いそご文化資源発掘隊 校歌と市歌もうひとつの真実 (会場：横浜市八聖殿郷土資料館) 令和 3 年 10 月 24 日 参加者 43 名</p> <p>■第 52 回いそご文化資源発掘隊 「大正」と「温室」の謎(会場：リハーサル室) 令和 3 年 12 月 11 日 参加者 48 名</p> <p>■第 53 回いそご文化資源発掘隊 根岸湾物語～埋め立て前の海岸で～(会場：リハーサル室) 令和 4 年 2 月 22 日 参加者 47 名</p> <p>■第 54 回いそご文化資源発掘隊 根岸湾は飛行艇の滑走路だった(会場:ホール) 令和 4 年 3 月 11 日 参加者 126 名</p> <p>■磯子こども文化資源発掘隊 2021 鉱石ラジオを作ろう (会場：横浜市八聖殿郷土資料館) 令和 3 年 8 月 4 日 参加者 24 名</p> <p>■「杉劇☆歌劇団」ワークショップ 令和 3 年 10 月 17 日～令和 4 年 2 月 20 日 参加者 37 名</p> <p>■杉田劇場にこにこ冬まつりライブ 2022 第 2 部 杉劇☆歌劇団×ドリームエナジープロジェクト 知られざる磯子の謎をテーマとした新作演劇 令和 4 年 2 月 6 日 来場者 173 名</p> <p>4 フェリス女学院大学から 6 名、昭和音楽大学から 1 名のインターンシップ実習生を受け入れました。施設の運営や事業制作に携わってもらい、アートマネジメント業務の現場を体験してもらいました。</p> <p>また、小中学校の職業体験学習については、複数の学校からの依頼がありましたが、新型コロナの影響ですべて中止となりました。なお、根岸中学校については、</p>
------------------------------------	--

	職業体験の代替企画として、当館スタッフが学校へ出向いて、日ごろの業務等について話す、職業講話を実施しました。
--	--

ウ 使命3：地域が抱える課題に対して、様々なアプローチにより、文化芸術活動の可能性を広げること
に貢献する。

◇◇文化の力とは 生きる力・地域を創る力・バリアを乗り越える力 区民の文化の力を結集する広場
になりたい

<p>【事業計画】</p> <p>1 子育てを支援し、未就学児や親子に芸術文化に触れる機会や居場所・コミュニティの場を作ります</p> <p>2 地域課題への「気づきの場」としての事業展開</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 「ひよこ♪コンサート」を2回開催しました。 また、「杉劇こどもウィーク おやこ de 夏あそび」の企画としても、0歳から入場できる親子コンサート「フルート・デュオ “れこると” コンサート」を開催しました。 また、休館期間中の横浜美術館との協働で、子ども值その保護者を対象とした創作体験「横浜〔出前〕美術館オリジナルのエコバッグをつくろう」を開催しました。</p> <p>■ひよこ♪コンサート Vol. 41 ～ハロウィン スペシャル～ 令和3年10月27日(2回公演) 来場者 273名</p> <p>■ひよこ♪コンサート Vol. 42 ♪さっこさんといっしょ トナカイさんのゆめ♪ 令和3年12月4日(2回公演) 来場者 388名</p> <p>■フルート・デュオ “れこると” コンサート 令和3年8月21日(2回公演) 来場者 98名</p> <p>■横浜〔出前〕美術館 オリジナルのエコバッグをつくろう(会場：ギャラリー) 令和3年12月18日 参加者 28名</p> <p>2 「地元発掘映像交流プロジェクト」の第一弾として、岡村天満宮の梅のドローンによる空撮を、磯子区をイメージしたキャラクターが紹介する動画「空から見る</p>
---	---

	<p>ISOGO—Drone in my city」を制作・公開しました。</p> <p>また、区内の小学校の活動の幅を広げるサポートとして「スピーチコンテスト」に会場提供をしました。</p> <p>■空から見る ISOGO—Drone in my city 令和4年3月3～4日撮影、3月22日公開</p> <p>■磯子区よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 令和3年6月30日開催 来場者80名</p>
--	---

エ 使命4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、地域の様々な施設・団体・資源（文化施設以外の教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつけることで、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンスの形成に貢献する。

<p>【事業計画】</p> <p>文化的コモンスを地域の教育力、絆づくり、地域包括ケア等多層的なコミュニティのベースとして位置付け暮らしの中に文化のネットワークを形成します</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 施設外でのアウトリーチプログラムとして、横浜市八聖殿郷土資料館での「いそご文化資源発掘隊」(前掲)や、久良岐能舞台での「出前 にこにこアート体験塾 雅楽であそぼう！たのしもう!! in 久良岐能舞台(前掲)」を開催し、地域の色々な場所で文化体験できる機会を提供しました。</p> <p>2 新型コロナの影響で縮小傾向にある学校活動をサポートするため、「歌声を届けようプロジェクト」の番外編として、根岸中学校音楽部のコンクール参加用の合唱録音にホールを提供しました。</p> <p>また、杉田小学校の子どもたちの活動発表・課外活動の場としてギャラリーの会場提供と、展示作業を補助しました。</p> <p>■歌声を届けようプロジェクト番外編 根岸中学校音楽部合唱録音 令和3年9月3日 参加者11名</p> <p>■杉田小学校4年生の活動紹介展示 令和4年3月1～6日</p>
---	---

3 前年度までの「伝承プロジェクト」で構築したネットワークや情報を活用して、今年度も「いそご文化資源発掘隊」の内容と、地域の作業所を中心とした「美味しい情報」を掲載した「磯子文化ガイドマップ7」を製作・配しました。

4 施設内でポスター掲出やチラシの配布などを通じて、防犯・防災などの広報活動等に協力しました。
また、「杉劇こどもウィーク おやこ de 夏あそび」では、磯子警察署、磯子消防署からも協賛いただき、それぞれのグッズを景品として配布しました。

5 新型コロナの影響により、磯子事業会や町内会などのイベントや施設利用など軒並み中止・縮小となったため直接の事業協力は行えませんでした。情報交換・会議への出席等を継続して行いました。

6 駅前にある公共施設として、あらゆる人が安心して安全でいられる場所となるよう、「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用の研修の実施や市民からの問い合わせ対応、緊急時のマニュアルの整備・確認を行いました。

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮して、利用者の文化活動がより良い活動となるよう支援を行い、磯子区民に親しまれる施設となる。

◇◇「今日は何をやっているのかな?」「誰かいるかな?」声を掛け合うみんなの広場になります

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 利用者の立場に寄り添い、一人ひとりに合わせた対応をします	1 三密回避等の感染拡大防止策という点も踏まえ、主催事業だけでなく、共催・協力事業等でもインターネットでのチケット販売システムを活用しました。 また、施設利用でも料金支払いやキャンセル手続きについても、来館しないで受付できるよう条件を緩和する特例措置を行いました。
2 ユニバーサルデザインの7原則を踏まえ施設設備機能の充実を図ります	2 多様な来館者に配慮した掲示や受付での案内に努めたほか、施設webサイトについて横浜市のウェブアクセシビリティ方針に合致したものに更新するための準備・検討を開始しました(サイトの改修等は来年度以降に実施予定)。
3 利用団体を応援することで杉田劇場のファンを増やし、好循環を作ります	3 施設の利用が、質が高く多岐にわたった内容・形態となるように、多様な団体の利用を優先予約数の制限範囲内で受け入れました。 また、利用団体向けのオープンフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、今年度も実施を見合わせました。
4 利用者等の声を反映して、マネジメントを育みます	4 利用者の声を受け止められるよう、施設webサイト上に「ご来館者さまアンケート」を常設しました。
5 施設利用に関わる個人情報の保護	5 個人情報に関する事故が、事業実施に関する1件と、事務室スタッフ関連で1件の計2件発生してしまったため、繰り返し研修や講義を実施するとともに、再発防止策を徹底しています。

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。日常的に不具合箇所を確認し、小破修繕で対応できる予防的修繕にも着実に取り組む。複合施設に設置されている施設として、施設全体の維持管理において適切な役割を担う。

◇◇様々な人が訪れ 集い 憩う場所として安全・安心・快適な場であり続ける

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 施設の安全確保と長寿命化の視点による修繕の実施	<p>1 経年劣化等による日常的な部品交換や小破修繕を積極的に実施しました。</p> <p>ホール舞台吊物機構の劣化を踏まえて、早期の更新に向けた情報収集・検討を、保守点検業者を交えて進めました。</p>
2 利用者に安心快適な日常における保守管理	<p>2 日々の確認や巡回作業、また12条点検や消防設備点検などを定期的の実施し、ビル管理会社・防災センター等とも連携することで、</p>
3 保守管理業務における委託業者について	<p>3 業務の基準に沿った保守点検を100%実施しました。</p>
4 適切な修理・改善対応の実施	<p>4 施設の機能が阻害され、利用中止となるような事案は、都度の修理・修繕等の実施により、発生しませんでした。</p> <p>施設の予算内では実施困難な修繕についても、不具合状況を定期的に報告することなどにより、リハーサル室ピアノのオーバーホールの実施に繋がりました。</p> <p>他方で、新型コロナの影響や交換部品の廃盤・払底等により、即時の修繕・機器交換ができない部分については、施設スタッフによる日々の点検・確認などによる安全確保を行っています。</p>
5 事故・防犯に対する取組み	<p>5 施設の管理瑕疵や、スタッフのミスに起因する事故の発生をゼロとしました。</p> <p>なお、実施を検討していた、特殊詐欺防止のための警察との連携イベントは、新型コロナウイルス感染症の</p>

<p>6 防災に対する取組み</p> <p>7 感染症対策等衛生管理</p>	<p>拡大防止の観点から実現に至りませんでした。</p> <p>6 危機管理マニュアルの整備と、施設内での研修等を通じたスタッフへの周知徹底を行いました。 年間2回の防災訓練を実施しました(内1回は、磯子消防署より講師を招聘し、AEDの操作訓練も実施)。また、磯子消防署で開催の普通救命講習スタッフ5名が参加しました。</p> <p>7 横浜市の「ガイドライン」や、県のチェックリスト等に則した施設運営・事業実施を行いました。 また、文化庁の文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業により、検温・アルコール噴霧器3台を導入しました。</p>
--	--

(2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

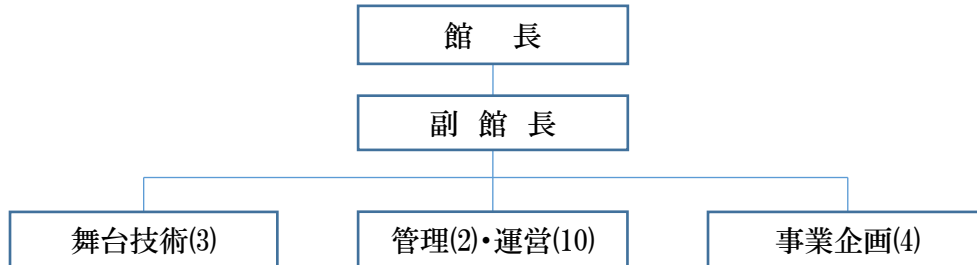
<p>【事業計画】</p> <p>1 共同事業体による専門性と地域の力を融合させた運営を行います。</p> <p>2 各団体が業務を分担し、適切に人材を配置し、地域での活動を踏まえた効率的な勤務体制をとります</p> <p>3 施設利用や舞台に関する技術的な相談等を受けられる体制を維持します</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 共同事業体4者が一丸となり、それぞれの地域とのネットワークや、専門スキルを活用した施設運営を行いました。</p> <p>2 共同事業体で密接な連携を行い、新型コロナの濃厚接触者等が発生しても、施設運営に支障をきたさない体制を維持しました。</p> <p>3 通常の施設利用に関するニーズやトレンドに加えて、新型コロナの影響や各種の制限等も含めた施設利用者・来館者の状況や傾向を踏まえた対応体制としました。</p>
---	---

イ 必要人材の配置及び能力担保

1. 共同事業体の構成

財団（副館長）／NPO 法人チーム杉劇（事業、施設運営、維持管理）／
 （有）アイコニクス（舞台）／（株）ニックスサービス（清掃、設備保守、管理）

2. 人員体制



役職・担当		所属
館長		財団
副館長		財団
舞台	照明	アイコニクス
舞台	音響	アイコニクス
舞台	舞台	アイコニクス
管理	経理・労務	チーム杉劇
管理（補助）	庶務等	チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
運営		アイコニクス
運営（コンシェルジュ）		10名 チーム杉劇（パート）

※清掃、設備保守、管理のニックスサービスは常駐しない。

※上記の他、財団事務局において以下のバックアップを実施

- ・経営企画室（JV 会議出席、経理事務補助 等）
- ・総務グループ（財団職員の給与計算及び社会保険、修繕対応 等）

【目標等】

- ・人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。

【実施内容と達成状況】

■人材の配置は以下の通りとしました。（3年度末）

館長：1名

副館長：1名

事業企画スタッフ：3名

施設管理スタッフ：2名（臨時職員含む）

運営：1名（アイコニクス所属のスタッフで、事務室シフトにも加わる）

運営（コンシェルジュ）：10名

舞台技術スタッフ：3名

- 設備管理を担当するニックスサービスは、開館前や施設点検日、夜間停電対応など中心に、建物管理や清掃業務に当たりました。
- 区民主体のNPO法人チーム杉劇理事会の運営方針に則り、財団事務局とも連携して、安定した体制で運営を行いました。

(3) 管理について

ア 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
<p>「利用者の安全確保が何事にも優先する」という意識をもって「安全・安心を最優先」に組織体制と計画を策定し、事故の未然防止にあたります。そして、誰もが安心・安全に施設利用ができるような管理・運営を行います。</p>	<p>事故・防犯に対する取組</p> <p>こども、高齢者、障がい者、外国人を含むあらゆる人の利用を想定し、火災や地震など事象ごとに対応を定めた「緊急時対応マニュアル」を、必要に応じて更新し、全体研修等でもスタッフ間で共有しています。</p> <p>発生した個人情報取扱事故の反省に立ち、定期的な研修や資料配布等を実施して、個人情報の取扱いに対するスキルと意識を向上に努めました。</p> <p>■スタッフ全体研修 令和3年5月14日・7月13日・12月14日実施</p> <p>ホール利用者には、打合せ時に「避難誘導についての手引き」「感染拡大防止のための案内」を配布し、緊急時等の対応とともに、横浜市の「ガイドライン」に沿った感染拡大防止策の説明と、各対応の徹底を確認しました。</p> <p>職員は始業前点検として開館前に各部屋を巡回し、設備の損傷確認と不審物等の確認を行います。 また、終業時にも巡回・確認し、防災管理自主検査票に記録しました。 また、地震の発生後や、風水害の前後などには、利用者および各室場の確認を徹底しました。</p> <p>舞台に関わる事故を防止するため、舞台スタッフによる設備点検を徹底するほか、利用者に対して利用時の注意喚起を行いました。 また、舞台機構操作ならびに照明機材の吊込み等、危険</p>

を伴う作業については必ず舞台スタッフが行うか、舞台スタッフ立ち合いの元で専門知識のある人員による操作を徹底としました。

全体研修の際に、磯子消防署から講師を招聘しての緊急時の応急処置とAEDの取り扱いを習得しました。また、磯子消防署での普通救命講習をスタッフ5名が受講しました(前掲)。

施設内にはAED1台を常備しています。

複合ビル内の施設であり、直接の施設利用者以外でも不特定多数の方が来館することを想定していたが、ビル内の共有階段での喫煙等も確認されたため、職員による館内巡回、監視カメラによる監視のほか、ビル管理会社スタッフ、ビル防災センターをスタッフとの連携・情報共有を行い、防犯・防災に努めました。

緊急事態や事故の発生時は、所定のフローに沿った施設内での報告・連絡フローを順守し、緊急連絡網に沿った区役者を含む関係各所への連絡と対応を実行しました。

認知症状の見られる高齢者や様々な事情を抱える方が長時間滞在することもあり、関係各所と連携・協力する体制を構築しています。実際に、磯子警察署への連絡・相談等を行った事例もあり、早期の対応を徹底しました。

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>【事業計画】</p> <p>新型コロナウイルスの拡大防止のための利用制限等がっても、現在の利用区分・料金設定に対して、利用者の一定の理解が得られているため、現行の料金設定を基本的に維持します。</p> <p>利用率の向上と新規利用者の開拓、及び次世代育成を目的とし既存の割引制度に加え、新たな減免制度・割引制度、優遇措置（特別料金設定）を実施します。</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの感染が収まらず、緊急事態宣言・まん延防止措置が適用が長期にわたり、それらの適用がない期間も「ガイドライン」に沿った利用制限がつづいたため、施設利用に関しての新たな取り組みができませんでした。</p> <p>他方、利用者側の文化活動に対する消極的なマインドの影響もあり、特定の時間帯・室場の利用率の低下傾向が明確となっているため、学校等の利用に対する柔軟な受け入れを実施して好評を得られたため、次年度以降の利用枠のさらなる拡大を検討しています。</p>
---	---

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 利用料金を増やすために平日利用を増やします。	1 新型コロナの影響の継続により、平日のホール利用や、夜間の練習系施設などでの利用率の低下が固定化してしまっており、目標収入額に届かない状況の減少となりました。
2 チケット収入を増やします。	2 1と同じく、新型コロナの影響により、事業の計画的な実施と、効率的な広報展開を行うことが困難となり、昨年度に引き続き、チケット収入が目標額から大幅減となりました。
3 助成金・協賛金・広告収入を増やします。	3 新型コロナの影響により事業実施も、施設のPR活動も困難だったため、施設全体としては協賛金・広告収入獲得が困難でした。 そんな中でも、「杉劇ひばりの日 2021」では、地元のスターである「美空ひばり」にまつわる企画として、35万円の協賛を得られました。 また、「杉劇こどもウィーク おやこ de 夏あそび」では、これまで関係を構築してきた8つの地域の組織や企業からイベント景品の現物協賛を得られました。

(3) 経費削減等効率的運営の努力

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 業務の効率化	1 新型コロナに関連して、イレギュラーな対応が求められることも多く、また、陽性や濃厚接触の疑い、ワクチンの接種や副反応など、急な人員調整の必要が発生しても支障がでないように、業務のバランスや情報の共有を進めて、年間を通じて安定した施設運営が行えました。
2 人材の効率的活用	2 4者共同事業体間で連携を強化し、事務室スタッフ・舞台スタッフ・受付スタッフが相互の業務を把握してカバーしあえる体制を維持しました。
3 年間の事業収支バランス	3 毎月の収支のバランスチェックを実施していましたが、長期的な広報計画が想定通りとならず、チケットの販売状況が予測と乖離する状況が続きました。 また、施設管理では利用率の変動に伴う光熱水費の変動などが激しく、通年での見通しが
4 エコ活動の推進	4 産廃ゴミ分別の徹底し、特に、古紙リサイクルについては、より徹底して行いました。